



芝山小だより

1月号
清瀬市立芝山小学校
校長 寺井 俊敬
<http://www.kiyose.ed.jp/>

1年の計は元旦にあり

校長 寺井 俊敬

令和5年 新春のお慶びを申し上げます。皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年もよろしく願いいたします。

卯年が始まりました。干支(えと)は、本来「十干十二支(じっかんじゅうにし)」、または「六十干支(ろくじっかんし)」というそうで、2023年は、癸卯(みずのとう)というのだそうです。ある記事によると、2023年、癸卯の「癸」は一つの物事が収まり次の物事へ移行していく段階、「卯」は繁殖する、増えるという段階、にあると言います。癸卯は昨年までのものごとに区切りが付き、次へと向かっていく、そこに成長や繁栄といった明るい世界へと広がっていくと解釈することができるかと書かれています。60年前に、癸卯がありましたが、60年前には名作「鉄腕アトム」が誕生し、初の日本の30分テレビアニメの放映が始まった年でした。科学技術が発達し、人と同等の感情や知能をもったロボットも開発されています。コロナ禍は続きますが、病気を治す薬が開発され、戦争のない平和な世界になってほしいと思います。そして、「鉄腕アトム」が誕生した時のように、様々な未来志向の新しい技術が生まれ、次へと向かっていくよい年となることを願ってやみません。

学校も本日より、新学期を迎えました。『1年の計は元旦にあり』ということわざがあります。類義語、似たような言葉では『1日(いちじつ)の計は朝にあり』というものもあるようです。いずれにしても、『何事もはじめには、まず計画を立てることが大事である』ということです。学校にとっては、本日がスタートです。運動会や音楽会、日常の学習に生活に頑張った子供たちです。1年のスタート、子供たちには、コロナに負けず、「これはできるようになるまで頑張る」「これは最後までやり切る」といった目標について、ぜひ考えてほしいと思います。そのためにも、ぜひご家庭で、子供たちの興味・関心があること、頑張りたいことについて話し合ってもらいたいと思います。そして、応援してほしいと思います。

私自身も、新年を迎えるにあたり、今年はどうのような年にしたいか考えてみました。コロナウイルス感染症も感染が確認されてからまもなく3年が経とうとしています。今年も、今の状況が大きく改善することはないかもしれませんが、しかし、一定の感染対策をしながら、できることが増えてきていることは事実です。学校も、コロナウイルス感染症が発見された1年目より2年目、2年目より3年目、とできることは確実に広がっています。今年も、子供たちが、昨年よりもかかわり合って学ぶ、昨年よりも積極的に活動する、そんな1年にしたいと思います。そして、今年も芝山小学校70周年を迎える年です。子供たち、保護者の皆様、地域の皆様、教職員一同で、盛大に70周年を祝いたしたいと思います。

本日、始業式で子供たちに、『1年の計は元旦にあり』ということで、1年の始めに目標をもつこと、いじめは許さないこと、また、困ったときには、近くの大人の人に相談することを話しました。今年1年、本校の教育活動へのご理解とご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。(学校ホームページ「令和4年度校長室より」は、本日より再開いたしました。ぜひご覧ください。)